

# 友愛こうら

第80号 発行：甲良町老人クラブ連合会  
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、  
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

平成29年度

## 甲良町老人クラブ連合会 理事先進地交流研修会(報告)

日時 7月27日(木) 13:00~15:00 会場：丸亀市ひまわりセンター  
参加者 甲良町老人クラブ役員 20名 丸亀市老人クラブ役員 25名

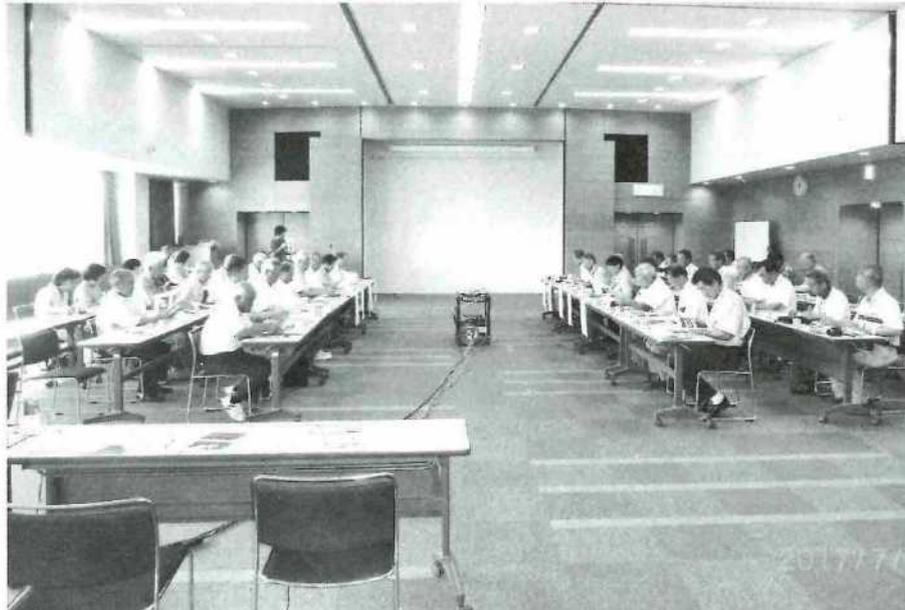
### はじめに

十年前、『若手会員と老人クラブ活動の活性化』をねらいに『若手委員会』がつけられたが、役員の負担増と会員の期待度も低く、具体的な活動はできずに中断していました。しかし、クラブの活性化は緊急の課題となり、平成24年度に『クラブ加入の促進と積極的な事業への参加』を課題に先進地に学ぶリーダー研修会が始まりました。

この事業の成果は、連合会事業の運営や組織化にも多くの変容や示唆を与えていただき、クラブの活動に質的变化をつくりだし、参画型の取り組みへと向う気運を強く感じています。また、単位クラブの事業や組織の在り方等にも生かされています。

研修先も連合会から単位クラブに目を向け、その活性化について具体的に学び、活動や組織のあり方、そして連

合会との関りについても考えてきました。さらに、こうした機会にそれぞれの単位クラブの取り組みを見つめる機会にもしていきたくも考えました。



《大会議室での交流研修会。中央スクリーンを利用した活動説明》

### 平成29年度 交流研修会のねらい・課題

本町老人クラブの課題を整理し、本年度研修課題を次のようにまとめ、交流研修にあたることになりました。

- ①会員の活動への積極的な参画、参加者増を図る取り組みについて
- ②連合会と単位クラブの連携や融合の在り方について
- ③生活支援や相互支援・友愛活動等の今日的課題について

### 交流研修会を行う 老人クラブについて

- ◆丸亀市川西町長寿会 (平成26年度全国表彰連合会)  
会員数759人  
16単位クラブ  
会長 香川 利秀様  
昭和41年4月設立
- ◆丸亀市老人クラブ連合会  
会員数7696人  
156単位クラブ  
会長 佐藤 隆繁様  
昭和41年4月設立

川西町長寿会(老人クラブ連合会)との交流研修会を市老連事務局に依頼した結果、

丸亀市老ク連として受け入れていただくことになった。川西町長寿会は、市老連を組織しているいくつかの地域別の連合会の一つである。本連合会は、平成 26 年度優良老人クラブ連合会として、全国会長表彰を受けられている。受賞にあたって、大会要綱に活動概要が次のように紹介されている。

当会は総会で決定した年間事業計画を会員に配布し、毎月開講の学級への参加を呼び掛け、開講時には、輪番制で給食を提供し、話し合いの機会づくりと防災炊き出し訓練など組み合わせ、健康で生きがいある生活の維持促進に努めている。また、次世代を担う子どもとの「ふれあい活動年間計画」を策定して、地域との連携を維持している。市老連企画のスポーツ大会とペタング・ゲートボールの交流試合を企画し、積極的に参加して、会員の健康維持への意識高揚と組織の結集力と動員力の活性化を図っている。

こうした経過を経て研修先を決め、事前にクラブの概要を交換して準備し、当日に

臨んだ。

以下、研修部担当の松原良紀さんが当日の研修の概要をまとめていただきました。

### 交流研修会の記録

今年、全字の役員がそろって参加できませんでしたが、朝 7 時出発。華麗で力強い美を感じさせる瀬戸大橋を渡り、丸亀市へ到着。車中、研修資料をもとに田中副会長から説明を受け事前の研修も積みみました。

この日も酷暑厳しい中でしたが、冷房のきいた福祉センターのゆったりした大会議室で交流研修会が始まりました。

丸亀市老連会長の歓迎と双方の研修の成果を期待したいという挨拶に続き、私たちを代表して会長がお礼と研修のねらいを含めて挨拶があり、研修会は始まりました。

#### ① 地域に密着した自主防災活動・特に継続の秘訣について(説明)

まずは、川西町長寿会が関わる地区自主防災活動について、その会長岩崎正朔様より、この活動が定着していく過程とその過程における課

題・ポイントについて詳しく説明をしてくださいました。

直接的な老人クラブ活動ではありませんが、地域ぐるみの防災活動であることと高齢者の安全安心な暮らしの観点から重要な事としてとつても参考になりました。その概要は次の通りです。詳しい内容等については、各字参加の皆様から機会があれば聞いていただくとういと思います。

①創設期は、住民の意識改革や人材確保が重要なポイントです。

②躍動期は、教育現場等との連携や広域連携、運営資金の確保が課題である。

③充実期を迎え、企業・団体との連携の輪の拡大や本格的な備蓄計画と確保が重要な課題である。

④成長期を迎え、県内の自主防災組織育成の支援ができるまでになり、福祉団体との緊密な連携も計れるようになってきた。

なお、この交流会が終了した後、川西町コミュニティセンターに立ち寄り、防災用資機材の充実した保有状況を見せていただきました

た。老人クラブの地域貢献の状況も教えていただく中で、老人クラブ会員勧誘に自治会長もともに携わっておられることも聞き、そのつながりの強さにあらためて驚いた次第です。



《企業・倉庫・備蓄庫・並んで整備された家庭用防災センターとの協力等》

#### ② 川西町長寿会の活動の紹介

続いて、川西町長寿会会長香川利秀様から活動概要を説明していただきました。

①ふれあい活動の充実を重視し、地域に貢献する。

小学校、幼稚園・保育園と協議し、「ふれあい学級」と称して年間を通して交流している。

②健康づくりへの積極的な参加を促す。

市老連主催のスポーツ大会や競技大会に積極的に大勢参加し、日頃の体力作りの成果

を発揮する。

③長寿学級の毎月開催で豊かな自分づくりを自分たちで行う。

老壮大学と同じような講座や実技等を、単位クラブが順番に担当して研修会をしている。お膳立てした中に参加するのはない。以前は担当クラブが炊き出し訓練を兼ねて給食を提供されていたが、今年度は午後からの日程で単位クラブの当番制で年間 12 回行っている。毎回参加者全員が市と協力して健康チェックも行い、研修をしている。

#### ③ 丸亀市老連の活動概要の紹介

市老連会長が座長を務めながら、概要の説明をされました。

- ①多彩な健康・生きがいづくり事業
- ・ 会員研修・史跡巡訪(バス旅行 6 台)・単位(地元)老人クラブと理事・女性委員の交流会・シニア演芸大会
- ・ ペタング大会
- ・ ゲートボール大会
- ・ ボウリング大会
- ・ 老人スポーツ大会
- ・ 交通安全自転車



中西副会長の女性部活動についての説明》

大会への参加

②指導者・リーダー研修会

- ・指導者研修では、『丸亀城の歴史とその魅力』『認知症への正しい理解と効果的な予防について』
- ・役員(理事)研修は、先進地を訪問しての交流研修である。

③奉仕活動

- ・お城まつりでの竹馬のりの指導
- ・地域河川清掃活動

④女性部活動

- ・友愛チーム活動
- ・タオル寄贈活動
- ・女性研修(工場見学・意見交換会など)
- ・料理栄養教室

本町からも田中・中西副会長が活動概要をほんの少し行いましたが、意見交流までにはならず時間切れとなつてしまいました。

理事の皆さんには質問や意

見、自字の紹介などしていただく時間がなく、申し訳なく思うとともに、とつても残念でした。相手方の司会進行を進める企画であるので、その調整はなかなか困難であるが、今後は事前に綿密な連絡調整をしてさらに効果的な交流研修になるよう考えていきます。

このような研修を重ねていくと、リーダーの高齢者観やその課題の認識が深まって事業展開に具体化されてきます。研修で実際に実践者から聞いたり見たりして自分でもとらえたこと、感じたことをだいに動き出すことが重要であると思います。事業内容や展開だけでなく、特に役員選出と運営組織などについても、さらに考えていくことが必要であると感じました。



《甲良町老く連役員の皆さん》

参加者全員が研修の記録を書いてくださいました。研修地選定や事前の取り組み、また研修内容となるクラブ運営や事業展開、研修会のもち方、日程の工夫等々多岐にわたりお書きいただきましたが、ここではその一部をご紹介します。

行き帰りの車中では、他字の役員さんとゆっくり相互の情報交換ができて、今後工夫したり改めていくことなどの必要性もわかり、よかった。

町老く連の女性委員も、積極的に参加できるように、『理事研修』を『役員研修』に改めてはどうか。

老人活動の柱は『健康』『友愛』『奉仕』です。単位クラブの活動は、継続的に実施されてきています。さらにこれからも実施し続けたいと思います。

交流研修では、事前に資料で知っていることは説明を省き意見交換や質疑をするとよい。あらかじめ質問事項を考えておくとよい。もう少し時間があるとよいとも思った。

ほぼ毎月のように自分たちで『長寿学級』を開催していて、各分野で勉強されているのに感心しました。

直接研修内容とは関わらないかもしれませんが、研修に参加して思ったことを書きました。

老人会も昔は年齢が来たら自然に入会すべきと思っていたが、昨今、情勢や時代の変化で各々の価値観も変わり、連合会に入会しない人が多いと感じた。これは大都会優先や多数決による政治、金銭だけの政治が続く限り、日本の国は、特に田舎は衰退すると思う。国内の自給率を向上させ、かつ、国民も『足るを知る』生活、人間らしく生きることが大切だと思います。丸亀藩の家紋が『四つ目結び』と知り、歴史も勉強させてもらいました。それにしても蟬の鳴く声に圧倒される四国の旅でした。

丸亀城とのかかわりのある活動があった。甲良町でも町民の大きな誇りである三大偉人とのかかわりを持つ活動を町老く連や単位老人クラブで取り組んでみてはどうかと感じた。

川西注寿会の自主防災活動の規模・スケールの大きさに驚いた。

これから取り入れていきたいことは、

- ①ふれあい活動の中で保・幼稚園、小・中学校との交流。
- ②自主防災活動を自治会の中で位置付け、老人クラブの役割を考えること。高齢者自らが防災に関心を持つことができている、大変よいことである。

平成 29 年度甲良町老人クラブ連合会

# 役員 学校友愛活動・奉仕活動をおこなう



お盆を過ぎたら少しは涼しくなるだろうと期待しながら、ご案内させていただきました。しかし蒸し暑い日となった 8 月 21 日(月)、早朝より実施しました。

この事業は、地域づくりへの貢献、次世代育成に関わる町老ク連役員の唯一つの活動であります。以前は、ハートフルセンターへも訪問していましたが、作業内容が少なくなり、やめることになりました。そして、かねてより、考えていた甲良町の教育の中心であり、子どもの成長期の重要な教育現場である甲良中学校の環境を整えるお手伝いをして、少しでも生徒の健やかな成長のお役にたてばと考え、はじまりました。

## (1) 甲良中学校玄関前庭・特に花壇の除草作業

～感性豊かな甲良中学生育成のための  
環境整備・美化・除草作業～

## (2) 甲良特別支援学校(甲良養護学校)実習農園の除草・整備作業

～地域に根差した学校経営と生徒の  
指導を支える農作業場の整備作業～

皆様のおかげで、見違えるように美しくなりました。美しくなれば、そこへはゴミも落とさなくなるでしょう。ちょっとした草は抜こうと思ってくれるかもしれません。環境は人をつくるといわれます。このような皆さんの作業の成果に、子どもたちはきっと気づき、心を動かさせていってくれると思います。

これからも、地域貢献や青少年育成に係る取り組みに、さらなるご尽力をお願いいたします。



《中学校玄関前花壇の除草作業》

生活文化クラブ — おやつづくり教室 —

## ～高齢者が 簡単につくれる なつかしい おやつ～



◎粉寒天とグレープジュース・白あんで、アジサイの冷菓

◎もちもちおいしい 米粉でつくる 黒糖蒸しパン ◎簡単で、栄養たっぷり ミルクもち

おやつでも「やっぱり年寄りがつくると、違うなあ」という感想を持ちました。そんなおやつづくり教室でした。

パッと紫陽花の花が咲いたような冷菓は、鮮やかな色どりで目を見張りました。あとの二品もきれいな色合いで食感もさわやかで、簡単にすごいおやつができたという印象でした。

今年度も池寺の真柴孝子さんに材料や用具の準備からやっていただき、教えていただきました。7 月 21 日、暑い日で調理室の冷房が人の熱気もあって追いつかないくらいでした。

大勢でも皆さん分担して手際よく進めてくださいますが、いつも真柴さんが注意してくださっている

のは、料理は分量が少々違って何とかなるだろうが、おやつは分量と時間をきちんとしないと失敗するという事です。分量を間違えたためになかなか固まらなかったりします。さらに、繊細な心遣いで調理にあたるのが仕上がりに大きく影響することは言うまでもありません。

自分たちのクラブの会員さんを講師として教えていただく企画は、他市町に聞いても、今のところみうけられません。

これからもこうした形で、内容とともに運営についてもここでしかできない活動を生活文化クラブではやっていきたいと思ひます。次回は珍しいものづくりで、特選牛のウインナーづくりに挑戦します。

## 編集後記

「なんや、この暑さは!!」  
異常としか言いようがないこの夏の暑さ。

そんな中、ミサイルの発射で大騒ぎ。避難してください」とか「頑丈な建物の中に入ってください」とか指示されていますが、私たちはどうすればいいのでしょうか。また、そこまでいく時間はあるのでしょうか。

何事でも言葉で言うのは簡単です。お題目を唱えれば、その具体的な姿が描き行動ができるようになっていなければなりません。

今号は、理事の先進地交流研修会の報告を会員の皆様にご覧にさせていただく特集をしました。

交流研修会は、まさに、お題目から具体的な姿を実践者に示してもちろつて学ぶものです。そして、自分たちを見つめなおす機会にもなっています。

先進地で学ぶ事業への思いやその具体的展開、役員同士の交流、そして、クラブ全体のこれからの在り方を考えるたいじな機会になっていることを、参加者の皆様の取り組みから感じさせていたたいです。

参加の皆さんが記してくださいました研修記録は、すべて紹介することはできませんでしたが、多方面にわたって意見を書いていてくださいます。単にこの研修だけにとどまらずにクラブ全体に関わることとして大事にしたいことはいっぱいあります。

暑い暑いと言っていた夏は終わり、さわやかな秋とともに単クでもまた、連合会でも行事が次々と行われます。一人でも多くの皆さんが参加してくださいって一つ一つの行事を皆さんでより良いものにしていていただきたいと思ひます。

「クラブ活動参加記」を、思いつくまででけつです。お寄せいただきますとうれしです。よろしく、お願いします。  
(広報部会)